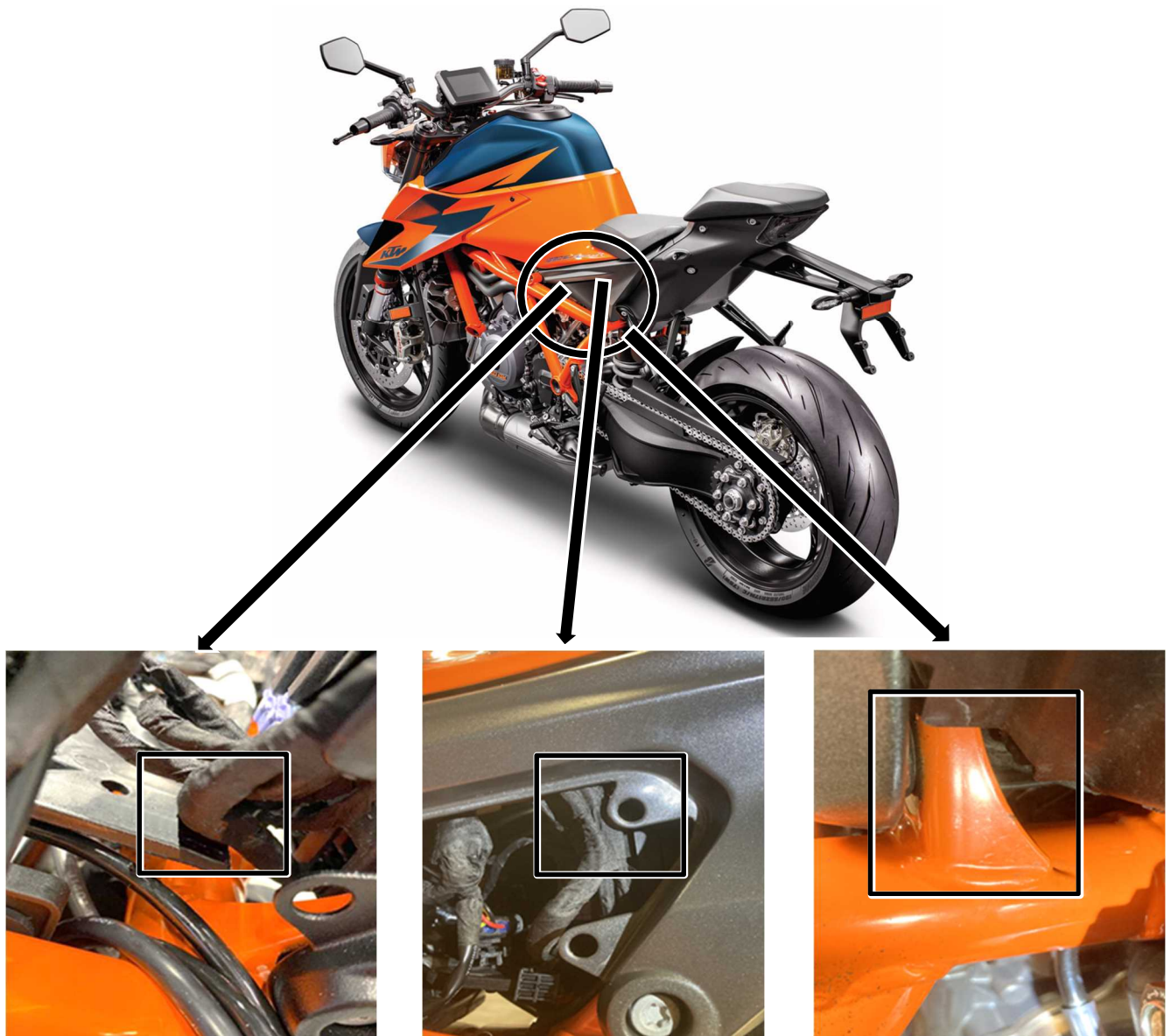


改善箇所説明図



注：  は改善箇所を示す。

基準不具合発生箇所

メインワイヤーハーネスにおいて、配索が不適切だったため、走行振動によりフレームなどの車両構成部品と接触することがある。このため、当該ハーネスの被膜が破れ、ハーネス内の配線が短絡し、最悪の場合走行中にエンジンが停止し再始動できなくなる、または火災に至るおそれがある。

改善の内容：

全車両、メインワイヤーハーネスの接触部 3 箇所にハーネスを保護する為の対策部品を取り付ける。なお、メインワイヤーハーネスの損傷状況を点検し、必要に応じて修正を行う。

識別：改善実施済車には、車台番号近傍に外-3521 のステッカーを貼付する。